



はぐるま

日本共産党
川崎重工委員会

困ったときの110番
お気軽にご相談ください
秘密厳守

TEL : 341-3235
FAX : 341-3236

メールアドレス
spum69u9@pony.
ocn.ne.jp

ご意見や投稿など
もお寄せください

ホームページ <http://www.jcp-kawajyu.jp/>
携帯サイト <http://www.jcp-kawajyu.jp/i/>



4社再統合にあたって 労働のルールでも世界に 誇れる企業に！

川崎重工は、10月1日付で、子会社の川崎造船、KPM、Kプラントを、グループ全体の知的資産の効率的かつ迅速な融合と活用」を目的に吸収合併しました。

4社再統合にあたっての労働条件は、ほぼKHIに合わせた内容が会社より提案（定年制度など未提案）され、来年4月実施をめざして労使で協議中です。

川崎造船もTARGET、一時金のカンパニー格差最大2カ月の提案

KHIに2004年導入されたTARGETは、定期昇給廃止などかなり賃下げとなり、労働者から強い不満が表明されていた制度です。それを是正するのではなく、川崎造船にも適用しようとしています。

また、一時金のカンパニータ業績反映部分は、労組も指

摘しているように、業績不振のカンパニーは0.5カ月カット、最大2カ月の格差を設けています。

少なくともカットはやめ、また、不満の多い成果主義から専門性と経験度にもとづく賃金制度に改めるべきではないでしょうか。

人間らしく働けるルールを

川重は、子育てサポート企業の認定などが評価され、平成22年度「こつべ男女いきいき事業所」として表彰されました。

喜ばしいことですが、職場の実態は、派遣や契約社員不安定雇用の増大と長時間労働の日常化などで、結婚や子育てがたいへん厳しい環境になっています。

4社再統合を機に、誰もが人間らしく働けるルールでも、世界に誇れる企業にしていきましょう。

大河

「日本は今、いまだ誰つちやあ経験したことのない時代を迎えようがじゃ」「これから日本は大きく変わるがじゃ」NHKの大河ドラマ「龍馬伝」は、いよいよ大詰めを迎えています。

龍馬が活躍した幕末は、ペリー艦隊の来航を機に、日本が世界市場に組み込まれ、身分制度にもとづく民衆支配の幕藩体制が急速に解体してゆく時代でした。

時が流れて今日、一向に改善しない経済危機と、普天間問題に加えて尖閣諸島や日口領土問題と、なにやら内憂外患に揺れる幕末の様相です。政権が自公から民主に交代しても、アメリカと財界にモノ言えない政治では、内外の閉塞状況を打ち破れません。暮らし最優先の政治への根本的転換こそ、「国民が主人公」の新しい日本への道です。

龍馬は言う。「わしらは、日本人みんなあが笑うて暮らせる国をつくりたいじゃき」「日本は、今のわしらはあには考えも及ばぬような夢と希みが満ちあふれちゆう国になるぜよ！」

三菱神戸が商船建造の撤退発表 営業と暮らしを支える 造船業の継続を!

7月21日、三菱重工は「神戸造船所から商船建造を撤退する」と発表しました。業界と労働者、地元住民に大きな衝撃を与えています。

神戸市長は、いち早く三菱重工社長に、「造船は神戸の象徴」「裾野の広い産業」なので、商船建造の存続を要請しました。

労働者、下請け業者、地元住民たちは、ただちに神戸の造船を残そうと連絡会を結成し、運動を起こしています。

造船は斜陽産業ではない

神戸市議会でも議論されました。その中で、「造船業は斜陽産業だ」「韓国・中国にコスト競争で負けて仕事がなくなった」などの無理解からくる発言がありました。

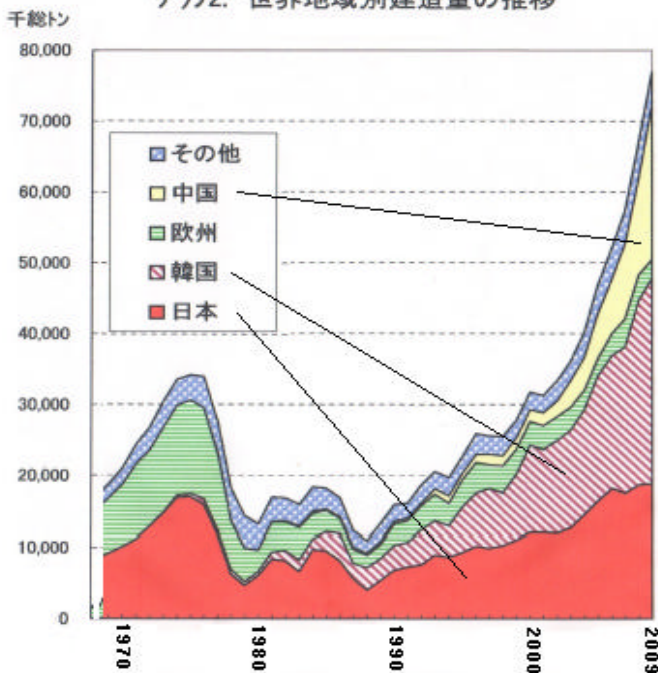
日本造船工業会の資料の「世界地域別建造量の推移」(左下表)を見ても明らかのように、船の建造量

は1990年以降年々増えています。韓国・中国の建造量は増えていますが、日本の建造量も増えていることがわかります。

一方、「世界地域別受注量の推移」(右下表)を見ると、07年から受注量が日本だけでなく韓国・中国も大幅に減っています。それは、リーマンショック後の世界不況によるものです。

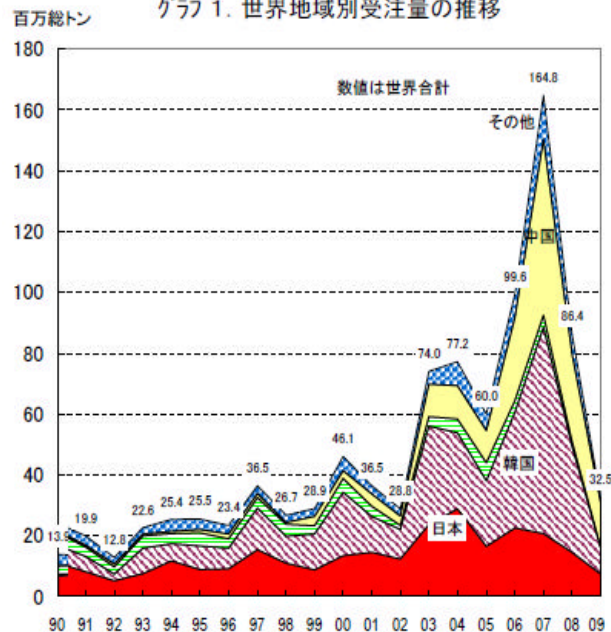
日本の受注量が減ったのは、「国際競争力」によるものではなく、世界の景気動向が大きく影響したことです。

グラフ2. 世界地域別建造量の推移



(注) 1. Lloyd's Register資料から作成。1967年までは進水量。1968年以降は竣工量。
2. 対象は100総トン以上の船舶。

グラフ1. 世界地域別受注量の推移



(注) 1. 1994年までは日本船舶輸出組合、95年以降はLloyd's Register資料から作成。
2. 対象は100総トン以上の船舶。

11月10日の衆院予算委でも、今回の商船撤退問題をとりあげた日本共産党の

穀田議員の追及に対し、馬淵国交相は、造船の「需要は回復していく」と成長産業と認めています。

身勝手な撤退は許されません

三菱重工では、船舶部門は黒字を続けています。受注も増えると予測しているのです。その上での商船建造の切り捨ては、原子力の方が儲かるからでしょう。

これが強行されたならば、下請けや関連企業、地域社会は大きな打撃を受けます。目先の利益優先の身勝手な行動ではなく、大企業にふさわしく社会的責任を果たすべきです。

読者の広場



働きやすい職場づくりを

貴党が今年の春に掲げた「誰もが人間として尊重され、健康と安全が守られる職場の実現をめざし、人間らしく働ける労働のルールを確立しよう」という呼びかけ(政策)は、誰もが望んでいることだと思っています。

神戸市のホームページによると、平成22年度、こうべ男女いきいき事業所「に、川崎重工業(株)が選定されました。就業の場における男女平等の推進や、仕事と家庭の両立の支援など、男女共同参画の推進に積極的な取り組みを行っていることが評価されたそうです。これらの優れた制度が活用され、名実共に働きやすい職場を作っていくことに、期待し共感するものです。(兵庫・M)

結婚する若者に拍手で祝福を!

私の職場では結婚する人を、職場全員でお祝いする伝統があります。今年に入って数件もあり、今後もお祝いが続くようです。

定時後、結婚する人の職場にフロア全員が集まります。まず、上司のお祝いの言葉に続いて、本人から、彼女との馴れ初めや、結婚までのいきさつ、新生活の抱負、職場での今後の決意などが語られます。それが終わると、クラッカーが鳴り響くと同時に、クヌ玉が割られ、全員の拍手喝采で若い人の前途を祝福しています。

若者に幸あれ!
(神戸・F)



70周年明石工場祭

10月23日、父親が働いている工場を家族が見学できるまたとない工場祭が開かれ、参加した家族は大喜びでした。

秋晴れの広い工場の中をウォーキングラリー、ロボットやバイク、それにバイクミュージアムも見て回り、たつぷり汗をかきました。そして、グラウンドでの大抽選会には千人以上の家族が詰めかけ、バイク当たつても免許なしの「声も聞こえませんでした。また、工場周辺の上空には、家族を乗せた遊覧ヘリコプターが舞っていました。

家族サービスには70年と言わず毎年やってほしいものです。(明石・O)

西神戸工場前の渋滞

昨年5月〜6月に派遣切りがあつたにも関わらず、中国向けの生産が増え、昨年秋季より派遣の方を何百人も増やしています。

そのため、出勤時間に工場の前で車が停滞し、近隣にも迷惑をかけているとのことから、7時50分閉門していたのを、10月より7時40分に閉門するとの通達がありました。

7時40分に閉門しても渋滞は緩和されず、バス通勤の人は、一つから二つ手前のバス停で降りて、工場まで歩いて出勤しなくては、8時に間に合わないとの声も出ています。

(西神戸・紅葉)

ねじれ国会に想う

秋の臨時国会が始まり、マスコミは「ねじれ国会」に管内閣はどう対応するかと論じています。しかし、よくみると民主党と自民党の間では、政治の中心では「ねじれ」はないように思えます。沖縄米軍基地「普天間」の問題も、消費税増税を法人税減税と一体にする方針も、同じ方向に見えます。

民主と自民が共通している「米国・財界」中心の古い政治と、国民の利益がねじれにしているようです。この「ねじれ」を正してほしいものです。(神戸・N)



幹部社員の「つぶやき」

幹部社員といわれても、意外と少ない会社情報。4社再統合では、となりの機の労組二ユースをそつと見たり、「はぐるま」で会社の出来事を知る状況です。私も労働者として、「はぐるま」の発展に期待しています。(A)

幹部社員に昇進したときは給料が増えるので、嬉しいと思つたのですが、実際は、残業代や休日勤務手当はないし、休日出勤しても振替休日も使えない。主事で残業の多い人と比べても年収はそんなに変わりません。部門長の評価で、同年齢の幹部社員でも報酬額にかなりの差(数十万円〜百万円)がでます。部門長に気を遣い、言いたいことも言えません。

また、仕事の内容は変わらない、能力も変わらないのに、56歳になると一律に報酬ダウンとなり、やる気をなくします。(M)

コーナー

ちょっとおしえて!

<円高問題> 8月以降、円の騰勢が続いています。15年ぶりの1ドル=80円台となっています。

なぜ円高になっているの?

円高は、円の需要が増えて円が値上がりするからです。その要因として、一般的には3つあります。

- 輸出が好調(海外で受取った代金の円への交換が増える)
- 金利が高い(預金して利子を受け取るために円に交換する)
- 政治・経済が安定(資産は安全な通貨を持ちたいので、円に交換する傾向が強くなる)

今回の円高は、日本経済がよいからというのではなく、アメリカと欧州の経済悪化を背景に、ドル安やユーロ安が進み、相対的に「より安定」している円に資金が流れて起きています。この流れに国際的な投機マネーもかかわって円高が加速しています。

円高になると、どうなるの?

円高となれば当然輸出に影響を与えますが、大企業の場合、以前から円高対策を十分に行い、80円台となっても対応できる体制がづくりあげられています。

大変なのは国民の生活です。大企業は円高を口実に生産減と海外移転の拡大、賃下げ、下請け企業の単価切り下げなどを進めています。そうすると消費が減り、ますます景気が悪くなります。

どうすればいいの?

雇用を増やし、人間らしく暮らせる賃金を実現し、下請け単価を引き上げるなどによって、家計を温め、国内需要を拡大する経済政策への転換が必要です。それに、各国と協力して強力な投機マネー規制が必要です。

神戸工場の新ビル、食堂メニュー、休憩コーナー

神戸工場のグラウンド跡地に来秋竣工を目指して13階建ての新ビルが建築中です。基礎工事が終わり1階部分の鉄骨が組みあがりました。船舶海洋C以外のプラント・環境C、機械BC、本社部門の事務・設計部門が入居の予定だそうです。

神戸工場の中央食堂には、カレー・ラーメン・かやくうどん各310円、曜日限定のどんぶり物410円があります。一番高いメニューはラーメンセット(ラーメン+チャーハン)

の560円、素うどんは150円です。夏場は冷やしうどん・そばもあります。昔はランチメニューもあつたそうです。

食堂の一角には20人以上が休憩出来る和室風の休憩コーナー(座布団も完備)もあり、食後に重たい靴を脱いで、疲れた体につかの間の仮眠を楽しんでおられます。働く人へのいたわりを感じ、ほのぼのとする光景は神戸工場の自慢のひとつです。(神戸・M)



兵庫工場の食堂模様

食堂は、工場のほぼ中央に位置するところにあります。昔の工場事務所を改造して設備を作ったものです。一階がカレーや麺類で、二階が肉系のA定食と魚系のB定食に分かれています。合わせて500〜600席あります。

昼のチャイムが鳴ると、一斉に食堂に集まってきました。ごった返します。一階は目当てのメニューに殺到し行列ができます。二階も並んで、まず味噌汁をお椀に注ぎ、お盆を取り、箸を取り、各棚にあるおかずを取り、

弁当またはお椀にご飯をよそい、茶碗を持って空いているテーブルを確保して、お茶を注ぎやつと食事ができます。結構こだわりのある人はメニューをその都度変えて1階を選んでいきます。最近はメタボ対策でカロリーが少ないB定食が人気のようです。

しかし、フライものが多いとか、代わり映えのしない料理だとかの苦情も聞かれます。一度に大量に作らないといけないので料理する人は大変だと思いが、もう一工夫が欲しいところです。(兵庫・J)

最近のニュースから

(以下は日本共産党の主張を紹介します)

尖閣諸島問題

日本の領有は歴史的にも国際法上も正当 日本政府は堂々とその大義を主張すべき

- ・「無主の地」で知られていた尖閣諸島を日本が1895年に閣議決定で編入し、その後、実行支配を行ってきた。
- ・中国が領有権を公式に主張したのは1971年12月。その中心点は、同諸島は台湾に付属する島として中国固有の領土で、日清戦争に乗じて不当に奪ったものだ、というもの。
- ・日本が領有を閣議決定したのは、日清講和条約の交渉開始以前。しかも、中国は、1970年代まで一度も日本の領有に対して異議も抗議も行っていない。
- ・中国との紛争の解決のためには、日本政府が、尖閣諸島の領有の歴史上、国際法上の正当性を国際社会と中国に堂々と主張することが必要である。
- ・中国政府に対しては、緊張を高める対応を避け、冷静な言動や対応を求めている。

日口領土問題

歴代自民党政権の日口領土交渉方針の根本的再検討を

- ・今日の日口領土問題の根源は、第2次世界大戦終結時におけるスターリンの覇権主義的な領土拡張政策による日本の歴史的領土である千島列島の併合と、北海道の一部である歯舞群島と色丹島まで占領したことにある。
- ・歴代の自民党政権は、1951年、サンフランシスコ講和条約で千島列島を放棄したことを是正することなく、国際的に通用しない議論を領土交渉に持ち込んできたことが、ロシア側に強行姿勢を許す結果になっている。
- ・旧来の自民党政権の方針を抜本的に再検討し、「領土不拡大」の原則に立ち、その不正を正すという道理に立った外交力こそが必要である。

シンポジウムの案内

造船・海運と地域社会

三菱重工は「商船建造撤退」の見直しを

とき：12月12日(日)13時30分~16時
ところ：新長田勤労市民センター大会議室
(JR新長田駅南 大丸3階)

《基調報告》

久村信政 全日本造船機械労組

《パネルディスカッション》

穀田恵二 衆議院議員

柴田悦子 日本港湾経済学人会顧問

金沢治美 神戸市議会議員



国土交通省へ要請(11月5日:衆議院議員会館)